令和４年度

事　業　報　告　書

社会福祉法人　明光会

令和４年度　社会福祉法人　明光会　事業報告総括

理事長　寺田千尋

・各区に拠点を増やす。
葵区：【鷹匠拠点】静岡の街の中心地である鷹匠地区に、障がい・高齢・子どものサポート機能と地域共生社会の実現に向けての拠点となる「明光會館レキシア鷹匠」の新設を進めており、令和５年５月に竣工式、開所式を行った。いよいよ６月開所を目指している。
障がいのある方が通所しやすい事業所を考え、新静岡セノバから徒歩１分、数10メートルの立地のため、利便性が大変良い。店舗では、法人内事業所や全国の障がい者施設で作った福産品を販売するアンテナショップにしていきたいと考えている。この施設は、静岡市の未来の街づくりの一端を明光会が担っていく。静岡の未来を担う若い方たちのアイデアを取り入れたいと考え、内装、インテリアを静岡デザイン専門学校の生徒の皆様にコンペを依頼し、建物の一部にデザインを取り入れている。最優秀賞のアイデアは、カラフルに彩る部分を取り入れた児童クラブ、放課後等デイサービスに取り入れ、子どもたちが通うのにあたり、楽しく、明るく、通いたくなる居場所となった。審査員特別賞からは、ご利用者の作品が多くの皆様の目に留まるよう絵や作品を展示する場所をつくり、会館内全体をギャラリーのような空間とし、アートと福祉と街が一つに繋がるよう演出した。そして、学生の皆様の【ふらっと立ち寄れる】という提案は、街中で活躍している学生の皆様にとってもメリットとなると感じたため、カフェの屋外にテイクアウトカウンターの設置やスタンドカフェ空間などとして実現した。このような取り組みが、障がい者や地域のために地域共生社会を作ることへと繋がると考える。私たちは、その取り組みを大事にし、そこに人が集い、お年寄りから子どもまで居心地の良い施設にしたいと考えている。
葵区：【大岩本町拠点】グループホームを令和４年１２月に１棟増設した。移動支援事業所「コココラーテ」の事務所としても活用予定であったが、居宅介護事業所との同時整備が必要となるので次年度以降に取り組みたいと考えている。
葵区：【慈悲尾拠点】ファミィーユさんあい第４、５、６、７欅寮の改修はレキシア鷹匠との同時整備となってしまうため、延期とした。今後は、高齢の利用者向けの日中サービス支援型グループホームの建設とともに進めていく。
駿河区：【みずほ拠点】令和３年２月より、駿河区みずほでコインランドリー

併設型就労継続支援Ｂ型事業所を安倍野工房の従たる事業所として開設。地域の皆様のご協力のもと、順調に進んでおり、令和３年１０月に単独化した。令和６年４月から特別支援大学の設立を目指す。静岡県内の特別支援学校高等部卒業後の方々の中で、一般就労にあと一歩という方向けの大学を設立したい。自立訓練（生活訓練）を多機能化として付随し、高等学校を卒業された方が、将来に進む仕事の選択をできる期間としての利用を促進したいと考えている。
清水区：【江尻台町拠点】令和３年４月に開所した日中サービス支援型グループホームが大変ご好評いただき、満床を継続している。清水拠点は良い立地があれば、日中サービス支援型グループホームを展開したいと考えている。

・法人後見事業を行う
令和６年度中に、法人後見事業を立ち上げたいと考えている。明光会は障がいのある方の相談事業所を早くから開所し行ってきた。昨今、後見人をつける必要性がある方が増加し、そうしたニーズに応えるためには、後見事業の担い手が必要であるが、成り手不足が起こっている。幸い、当法人の相談部門は優秀な人材が多くそろっており、明光会への期待感も相当高い。社会福祉法人だからできる事業を今後は行っていく必要があると考えている。現在進行中ではあるが、今年度中の開設を目指したい。

・本体施設の建替えの準備（中長期的計画）
以前から、建替えの話は出ており、中長期計画で進めているところである。現在の場所はもちろん、移転を視野に入れながら今年度は用地を探していきたいと考えている。慈悲尾の土地では、60 年間協力関係の下施設運営をしてきたが、今の利用者の方々の生活を守りつつ、同じ土地に建てる広さを確保ができるのか、できない場合は移転もしなければならないと考えている。
平成２２年度耐震補強と内部の改修を行った。現在、外回り、特に笠木の部分の塗り替えと安倍野工房の外装が必要、この１年間の間に実行する。

目次

１　社会福祉法人　明光会　法人本部
２　内部監査室・健康づくり推進センター・調理・チャオバンビーニ
３　安倍学園
４　ルーチェ仰陽
５　ファミィーユさんあい
６　安倍野工房（喫茶ぴあ～含む）
７　けやきワークセンター（ヴェルデあべの・ルンガ・South ぴあ～含む）
８　サポートセンターコンパス北斗
９　障害者就業・生活支援センターさつき
１０　ヴィヴァーチェあしくぼ
１１　フォルテあしくぼ
１２　Casa　Shimizu
１３　Lavoro　Mizuho

1　法人本部

【令和４年度目標】

1　法人ガバナンスの強化について

（1）スケジュール管理アプリによる、スケジュール管理の活用はできているが、期日管理に課題が残る。引き続き提出期限の厳守を行っていきたい。

達成率　60%　活用は浸透しているが、各部署、各幹部の期日管理意識やスケジュール管理の徹底はまだ不十分である。

（2）記録システムの導入を進めていき、積極的にiPad、PCにソフトウエアを活用することで、即時利用者の状況の把握、職員動線の無駄を省くと共に、縦断的支援から横断的支援とし、利用者一人一人のケースをより深い視点で対応していく。また、利用者バイタル、個別のケース記録の保管、状態の把握をデジタル化することにより職員間の共有を速やかに行えるようにする。

達成率　70%　ご利用者の健康状態、通院記録の入力および請求システムへの反映入力についても入力の浸透が図れている。毎月の記録の確認時に反省をまとめ、徐々に改善を図っていきたい。

（3）電子決裁システム導入、実施をし、更なるガバナンスの強化を図る。

達成率　80%　ほぼ電子決裁での対応ができている。まだ使いこなす段階まで到達していないこと、スケジュール管理アプリとの良い使用方法のすみわけをしてくことでより業務効率を図る予定。

（4）内部監査室を立ち上げ、統治システムの構築を行う。

達成率　50%　新事業展開、不適切支援、重大事故、ハラスメント事案等の協議が先行している現状がある。

各部署連絡会を再開し、指示事項の実現に向けた具体的な取り組みの意見を出し合い、成果確認を行う手法を取り入れている。

（5）本部事務局を業務ごとに課に区分し、専門性を向上する。

・今までは、オールマイティーな事務局員の育成に注力をしていたが、事業の増加により、着手の必要性を検討していたので、今年度で具現化を行う。

達成率　80%　課ごとの課題の共有や相談先の明確化が図れている効果がみられる。事務局会議でも、業務の困り感を吐き出しやすい雰囲気の醸成が出来ており、良いアイデアや意見を出し合うことで、課題が早急に解決出来たり試行錯誤を行うようにしている。

2　人材の育成

（1）働き方改革の内容を遵守し、人材の定着に努める。

達成率　70%　専門求人を開始したところ、応募が多くなっている実感を受けている。

（2）研修内容の見直し、全員受講を徹底する。

達成率　80%　法的に必須な研修と法人内で課題視している研修を行い、全員受講としている。参加型の研修スタイルを取り入れ、建設的な意見、集約の仕方等のスキルアップも要素として取り入れている。

（3）人材育成のため、資格取得の奨励をする。

・福祉・介護職員処遇等改善費の有効活用をし、奨励方法の明確化、周知を強化する。

達成率　60%　資格取得により、処遇改善費の増額がどのくらいあるのか、どのような支給形態なのかを周知できるよう準備を進めている。

（4）職員個人ごとの支援計画を策定し、面談等の実施を行い、具体的な育成プログラムを実施する。

（5）人材育成、職場定着のためには、国家資格取得を中心としたキャリアパス計画が必要である。職員一人一人のきめの細かい研修体制と資格取得のための支援体制の構築。

達成率　70%　人事評価時の面談を必ず実施している。キャリアパスシートを並行して入力し、お互いにキャリア形成について意識するよう仕組化する。

（6）本会独自の退職金積み立ての継続。

達成率　0%　事業展開の経緯で積み立てを取り崩している。資金的な中長期計画も見据えた事業展開の構想を行う必要がある。

（7）福利厚生面の充実

・有給休暇年間 20 日付与の方に限り 10 日付与の試験的に実施（現状 5 日付与は実施済み）

達成率　0%　事業展開が並行していることで、有給取得率を上げるまでには至らなかった。

・主たる介護者、小学生までの子育て中の職員向けにフレックスタイムの実施し、さらに働きやすい職場環境にする。

達成率　　0%　まだ利用者はいない。

（8）子ども参観会の実施

・職員の日ごろの活躍をしていただくと共に、福祉教育の一環として行い、広い範囲での福祉人材の確保につなげていきたい。

達成率　50%　子ども参観会としての開催はまだないが、行事とのコラボ

レーションや今回開所する児童クラブのプログラミング教室や英会話教室の体験利用も参加率が多く、そのような機会に建物に訪れることからお子さんが自身の親の仕事場を見る機会にはなっている。

3　施設整備

（1）安全な施設を維持するために、静岡市都市局建築部建築指導課指導係からの特殊建築物【建築物・建築設備】の定期検査報告結果により是正を行う。

（2）大岩本町拠点、鷹匠拠点、慈悲尾拠点の建設工事。

達成率 100%　随時、事業計画に沿って対応をしている。

以下、中長期計画

（3）多発している大規模災害を想定し、新たな防災倉庫の新設。

（4）入所棟屋上防水工事。

（5）本部中央廊下等 LED 化工事。

（6）樹木剪定工事。

（7）ヴェルデあべの洗濯用井戸ポンプ工事。

（8）防犯カメラ増設工事。

（9）ファミィーユさんあい８棟　太陽光パネル取り付け工事。

(10) 入所施設食堂椅子テーブル入れ替え。

(11) パン工房あしくぼ　建替工事。

4　公益事業の推進

【地域貢献事業】

1　独居老人、老人世帯の無償除草作業の提供

達成率　80%　実績が８回／年であった。リピーターの方もおり、受付窓口としても浸透が図られている。

2　当会の管財課員による建具の小修理、棚等の制作等（材料代は負担して頂く）上記、２項目は定款第３８条(4)

3　市街地ＧＨのフリースペース無料開放「ゆうゆうサロン」の設置

＊上記、１項目は定款第３８条(5)

内容：老人世帯の草刈り、除草は体力的にも相当な負担であることが、古紙回収事業トリクルによる報告で明らかである。除草希望世帯を周辺町内会に呼びかけ、申し込んでいただく。

達成率　0%　申し込みはなかった。

対象	老人世帯	地域静岡市葵区・駿河区
費用	無償	
予算	１月約 200,000 円	年間　　2,400,000 円
担当	管財課　望月智明	安倍野工房 けやきワークセンター フォルテあしくぼ
応募方法	・スーパー等の店舗にチラシを掲示させて頂き、募集する。 ・法人所有車両へのチラシの掲示 ・ホームページや広報誌、イベント時のチラシの配布	
成果の公表	① 法人ホームページ②広報誌「あべのたより」	

4　【生活困窮者支援事業①生活保護受給者への限定的家賃補助事業】

生活保護の受給を受けている方は、家賃が 39,000 円以内の住居でしか居住することができません。

当法人のグループホームを利用される方で、生活保護を受給されている方が家賃 39,000 円以内の設定でない棟に法人の処遇上の理由で入居をする方に限り、家賃と 39,000 円の差額分を法人が補助します。

5　【生活困窮者支援事業②】※今後検討事項

新制度に於いて、社会福祉法人の社会福祉充実額の低い法人は、この事業に取り組まなければならない。当会は再投下額が３億円を超えているので、当分は取り組まなくても良いことになる。取り組む内容は、生活困窮家庭の子弟が福祉系大学あるいは福祉医療等専門学校へ進学する際の授業料等の助成を行う。100 万円を限度として貸し付ける。有識者を交えた選考委員会を設置し、公正に行う。

対象	生活困窮世帯	地域	静岡市内に在住する方
予算	年間 1,000,000 円　５名まで		
担当	法人本部事務局		
応募方法	② 高等学校による推薦 ② 進学先（福祉系大学、専門学校）による推薦		
選考	有識者を交えた選考委員会により決定する。		
成果の公表	① 法人ホームページ②広報誌「あべのたより」		

２　内部監査室

【令和４年度目標】

１　指導監査、実地指導、労働環境の確認等、事業運営における各種法令、基準の遵守について定期的に点検することで、運営の健全を担保する。

２　各規定の見直しを行う。各分野で法改正が生じたものは、随時理事会にかけられるようにする。

３　年間スケジュールに沿って、項目１及び２が実施できるようにする。

達成率　50%　ハラスメント事案の発生があった。運営規程・利用契約書重要事項説明書の読み合わせ等を、進めることができた。

健康づくり推進センター

【令和４年度成果】

１感染予防、拡大の防止に努める。　　達成率 100%

令和 4 年度はコロナの感染拡大が継続し、法人全体を合わせるとコロナクラスターが 4 回程度あり、他にも単独で少数の感染者の発生が何回かありました。その都度嘱託医と連携をとり、抗原検査の実施間隔の検討や検査の実施、隔離方法の検討、他部署との調整などを行い感染拡大の防止に努めました。

２利用者の体重チェックを継続して行い健康状態の把握に努める。達成率 70%

体重増減の把握についてはルーチェ仰陽においては、毎月の体重測定時に報告していただき、問題があると思われる利用者様については職員と検討し、食事量の調整や、高カロリー飲料を飲んでいただくなどの対応を行いました。ファミーユの利用者様については半年毎の嘱託医健診の時に体重確認を行い、おやつや外食の状況について共有、検討を行いました。

3　各グループホームの利用者様（特に本人のみ又はご家族と受診されている利用者様）についての受診状況を把握する。又あしくぼの健康診断の受診状況の把握や、健診結果についての通院状況を確認する。　　達成率 80%

ファミーユ大岩については、職員が通院状況を把握するための通院記録を作成していただきました。それを健康づくりと共有できるようにしたため、通院状況の把握が行えるようになりました。

「あしくぼ」の健診後の受診状況については、「あしくぼ」に看護師が常駐するようになり、受診状況などの把握を行う事ができるようになりました。

4. 職員の健診結果、ストレスチェックの結果を踏まえ、職員の健康維持に努める。　　達成率　70%

職員の健診結果については、令和 4 年度の要受診、要精密者については受診状況の把握を行うことができました。ストレスチェックについては気になる職員については声掛けを行いました。

【人材育成・チーム形成計画】

1　各看護師に業務分担を行う。　　達成率 90%

各事業について分担して実施しました。

2　マニュアルの整備（薬セット・通院・などのマニュアル作成と、現在あるマニュアルの訂正）　　達成率 10%

コロナ対応などがあり、マニュアル作成を行うことができませんでした。

健康観察の様子

受診への同行

調理

【令和４年度成果】

1　栄養ケアマネジメントの充実　達成率７０％

・個別支援会議については、資料確認や現場職員への聞き取り等を行い、管理栄養士としての意見を伝えることで、ご利用者の状態把握に努めた。

・健康づくり推進センターとの情報共有については、医務ミーティング等へ参加する時間の確保が難しい体制となり、書面での確認が主となってしまった。今後は、勤務体制に応じて短時間の打ち合わせ実施や、事前の情報共有と意見書の提出等を検討していく。

2　手作りの給食の継続　達成率９０％

・勤務人数に応じて献立内容を工夫することで、概ね毎食手作りの給食を提供することができた。休日の朝食およびファミィーユさんあいの朝食についてはパン食となっているため、人員が確保できた場合には朝食の手作りも検討していく。

朝食例

昼食例

3　栄養価の改善　達成率８５％

・調理員からも意見を募りながら使用する食材や献立内容を工夫することができ、栄養素、食品群ともに大幅に摂取率の改善がみられた。

4　給食材料費の目標達成　達成率９０％

・献立予算表の作成と 10 日毎の給食材料費確認や、安価な食材への代替発注を行うことで予算内に収まるよう調整を行うことができた。緊急時のお弁当対応や食材の価格高騰がみられるので、予算を越えることのないよう十分に注意していく。

【人材育成・チーム形成成果】達成率８５％

1　チェック表を用いて職員の言動について良いチームを形成できるよう管理する

支援向上セルフチェック、業務改善チェックを毎日行い、必要に応じて面談を実施するなど業務中の言動について注意・確認した。

2　朝礼にて調理分担計画、休憩時間等を共有し、チームとして協力的・効率的に業務を行える体制を作る

朝礼や連絡ノートにて情報共有を行うとともに、必要に応じて厨房内で声を掛け合うことで協力しながら業務を行えた。

3　メンター制度を継続し、新任職員が明確な指示のもと安心して働ける環境を作る

指示系統が混乱しないよう、メンターを通じて指示確認や相談を行った。

チャオバンビーニ

【令和４年度成果】

1　子供たちが安心して過ごせる為の環境を備える。達成率 90%

・室内の清掃、整備は、毎日行い、感染防止に努めることが出来た。

・遊具点検・おもちゃの消毒を毎日行い、託児所日誌に記載することにした。忘れることなく行うことが出来た。

・CO2 モニターのチェックをしながら調整し、過ごしやすい環境を作ることを心掛けた。

写真：CO２モニター

・子供に寄り添い、安心して楽しく過ごせるように活動内容を考え対応することが出来た。

・名前の呼び方・話の仕方に気をつけ保育をするように心掛けた。

・子供用手洗い場のカバーが壊れかけていたが、新しく作り直すころが出来た。

写真：作り変えたカバー

2　子供の成長発達に応じた保育を行う。達成率 90%

・登園時に朝の様子を保護者に聞き、連絡帳で把握し、一人一人の生活リズムに合わせて保育することが出来た。
・コロナ感染がまだまだ収まらない時期だが、お天気の良い日は、園外散歩を多く取り入れることが出来た。
・夏場の雨が多かったのでプール遊びの回数が少なくなってしまった。
・季節に応じた制作は毎月行うことが出来、家に持ち帰ることが出来た。
・年間計画、月案、週案を作成し、活動を行う事が出来た。
・3 月には念願の日本平動物園に遠足に行くことが出来、楽しく過ごす事が出来た。

写真：日本平動物園にて

3　健康状態を常に把握し、適切な支援を行う。達成率 100%

・毎日、登園時、午睡後に検温し、健康状態を把握し、登下校時、口答又は、連絡帳で保護者に伝え共有することが出来た。
・体調で心配と感じたことは、本部看護師に相談し、指示を仰ぎ対応することが出来た。保護者にも伝え情報を共有することが出来た。
・毎日消毒を行い、感染防止に努めることが出来た。保育士日誌に記載するようにした。
・知り得た情報は、連絡帳や毎月の園だよりで共有し、対応することが出来た。
・毎月、身体測定を行い、保護者に成長の様子を伝えることが出来た。

3　安倍学園

【令和４年度成果】

1　安倍学園が育む子供＝生活する力を育てる（健康・性格・身辺処理・仕事・会話・読み書き・計算）

各年代に置ける目標を置き、利用者支援を行う。　達成率６０％

○実現するために取り組むこと

1. 個別のニーズ確認、支援計画の作成　達成率７０％
2. 進路計画の作成を４月に行いスケジュール作成　達成率６０％
3. 余暇活動の充実　達成率８０％
4. 生徒会の実施　達成率６０％

福祉型障害児入所施設

	R04 計画目標	R04 実績	R05 計画目標
一日平均入所児（者）数	20	18	20

＜令和４年度まとめ＞

・児童一人一人に担任、副担任を設け、職員が児童との関わりを持つように意識して支援にあたりました。令和５年度も、引き続き関わり合いを深めよう活動します。

・児童も自分の対応をする職員が居る安心感や満足感が昨年度より得られているように感じました。

・発達障害の児童や、コミュニケーション、愛着の問題など様々な課題がある児童が多く、不安定になることもあるが、１年をかけ、児童への声掛けのタイミング、個別対応開始の共有、事前にどのように職員配置を決める事で、児童との時間を作るかなど検討できるようになってきていると感じます。

・インカムを利用することで、対応や共有が迅速になりました。

・幼児の受け入れが増えたので、幼児の居室の把握職員は２名体制で付き、安全な支援に努めます。

・生徒会を通して、ルール決めや、自分たちが決めたことの振り返りと確認を、毎月取り組み継続できるように職員が計画を立てます。

短期入所支援

	R04 計画目標	R04 実績	R05 計画目標
年間利用延べ人数	100	190	260
一日平均利用人数	0.2	0.53	0.72

日中一時支援

	R04 計画目標	R04 実績	R05 計画目標
年間利用延べ人数	100	203	260
一日平均利用人数	0.2	0.56	0.72

コロナが落ち着いてきたこともあり、利用者数は増えてきています。
後も固定利用者の維持と、新規ご利用者の開拓に努めて行きます。

【人材育成・チーム形成成果】

＊安倍学園・ルーチェ仰陽・ファミィーユさんあい共通

1　年間計画と各計画を、余裕を持って周知することで、各職員の事前準備をする時間を、確保できるようにします。達成率 70%

・年間計画の作成と、各行事計画作成の日程に、余裕を持つことが出来ませんでした。
余裕のある立案をすることで、職員間の共有や、事前準備を整えることが出来ます。そして、児童と一緒に練習し準備する時間を計画的に生み出すことが出来ます。令和５年度も、予定管理、期限管理を徹底していきます。

2　職員それぞれの力を発揮できる仕組みづくりや話法を追加したマニュアルを整備していきます。達成率 70%

・インシデントに対してのマニュアル整備が先行しています。現場職員の意見を取り入れ、職員みんなで作成することが、マニュアル作りと、ルールを守り継続する鍵になると思います。チーム全体が現場を作る意識を持つようにします。

○実現するために取り組むこと

1　部会研修会の内容の見直し　達成率 75%

・常勤・非常勤の研修を一緒にすることで情報共有が出来き、支援に生かせるようになってきています。

・起きた事故などの様子を防犯カメラで確認し、時系列を追いながら、振り返ることが出来、その都度、状況に応じた対応として、何が最善か、何を改

善し、どう考えればよいのか、を確認します。
・支援システムの活用が、まだ定着していないので、行動面、情緒面などのグラフ化に反映するなど、最大限に活用できるようにしていきます。

2　朝礼、昼礼で情報共有を行う　達成率 80%

・平日の朝礼、昼礼は毎日必ず行うことが出来ています。
・土日もインカムにて朝礼を必ず行い、情報共有に取り組んでいます。

3　職員の個人目標設定　達成率 75%

・新任の先生には、ペアになる職員だけでなく、現場全体の職員がお互いに関心を持ち、聞きやすい職場、発言しやすい環境づくりを目指します。
・各職員が、年間計画に沿ったスケジュール管理を行い、主体的に発信し、お互いの進捗を確認する事で、生産性が期待できるので、各自が能動的に機能し、個人の役割を果たせるように、フィードバックを行いたいと思います。

4　ルーチェ仰陽

【令和４年度成果】

1　健康的な生活が送れるよう支援する　達成率７５％

・体操、歩行については、毎日取り組み、体力の維持・向上、身体機能低下を防いだ。天気の良い日には、外に出て、中庭や園内を歩くことで、季節を感じ、気分の転換を図る機会を作ることができた。
・園外歩行の実施は２回のみしか実施することができなかった。令和５年度は、外に出て体を動かす機会を増やしていきたい。
・定期的に実施している健康診断では、利用者様が安全に健康診断を受けることができるよう支援することができた。また、健康診断だけでなく、日々の体調観察を通して、ご利用者様の不調に気づき、看護師や医療機関につなげることができた。

2　活動の充実を図る　達成率５０％

・絵画、陶芸、ペーパークラフト、織物、茶道といったクラブ活動を通して、ご利用者様が楽しみながら文化芸術に触れる機会を提供することができた。特に、作品展での受賞したことにより、ご利用者様の意欲向上にもつなげることができた。
・日々の生活における作品作り、活動については、マンネリ化してしまい、充実することができなかった。
・班に分かれての活動を実施することができた。
　○作業班…エコキャップ活動は、毎日取り組むことができている（真冬日、真夏日、荒天時は控えるようにしている）
　○園芸班…じゃがいも（冬～夏）、サツマイモ（夏～秋）の栽培、収穫。
　○工芸班…壁面づくり、作品づくり、販売。絵画作品の製品化については進めることができなかった。

3　余暇の充実　達成率７０％

・お花見の会、端午の節句、七夕、ハロウィン、クリスマス、初詣、節分の会を実施。季節を感じることができる行事を取り入れることができた。今年度は還暦のお祝いも取り入れた。外出については、すべてのご利用者様に対して実施することができなかった。

施設入所支援　平均年齢　48.1歳

	R04計画目標	R04実績	R05計画目標
一日平均入所者数	27	25.7	27

令和4年6月に1名、11月に2名新規利用者を受け入れ、満床（27名）となっている。障害種別においても、知的障害だけでなく、身体障害、精神障害のご利用者様もご利用されている。

短期入所・日中一時支援

	R04計画目標	R04実績	R05計画目標
年間利用延べ人数	250	335	335
一日平均利用人数	0.68	0.92	0.92

コロナが落ち着いてきたこともあり、利用者数は増えてきている。設備上、環境上ご利用が難しいご利用者様には、ファミィーユさんあい大岩やカーサ清水のご案内もさせていただき、法人全体での利用者の確保に努めている。

生活介護　平均年齢45.6歳

	R04計画目標	R04実績	R05計画目標
一日平均利用者人数	60	47.1	53

目標達成は難しかったが、昨年の実績44.5を上回ることはできた。年齢、疾患により、週2～3回の利用者が増えてきているので、利用者の体調に合わせた支援を行うと共に、体力の維持、向上を目指していきたい。

5　ファミィーユさんあい

【令和４年度成果】

1　巡回計画を立て、個別の傾聴の機会を増やし、ニーズを聞き、支援に活かす。
達成率８０％

・支援者からの情報連絡やご利用者自らが個別に相談をしてきてくれる時などは、お話を聞き、解決や支援に活かす事ができた。ご利用者の後見人や保佐人、ご家族に利用者の様子などを伝えるように心がけた。日頃の様子に変化があった場合などは、職員間で共有をする事で職員同士が同じ支援をするように話し合う事ができた。

2　移動支援の申請を行い、余暇外出、余暇活動(レクリエーション)の充実、買い物支援の個別対応を図る。
達成率８０％

・コロナ禍でしばらくできていなかった移動支援のサービスの活用を再開した。ご利用者のニーズに対応できるように、個別に聞き取りを行い、必要な物品の購入等を代わりに行った。令和５年度は移動支援サービスの申請ができていない利用者への申請を行うようにしていく。

3　自立に向けた支援を個別に計画的に行う。(調理実習、通院支援、買い物支援、旅行、携帯電話の使い方（Wi-Fi 含む)、交通ルール（自転車の乗り方)、防災、防犯、公共サービスの利用方法等
達成率７０％

・グループホームでも Wi-Fi の使用ができる事となった為、Wi-Fi の利用を希望された方には使用方法や携帯電話の使い方や注意事項等を伝える事ができた。一般就労をされている利用者へは公共交通機関でのマナーや定期購入、チャー

ジ方法をお伝えした。地域で行われる清掃や防災訓練には地域で生活をする一員として参加をし、地域の方と協力し行う事ができた。

共同生活援助

	R04 計画目標	R04 実績	R05 計画目標
一日平均入所者数	40	42	45

短期入所

	R04 計画目標	R04 実績	R05 計画目標
年間利用延べ人数	12	12	70
一日平均利用人数	0.05	0.05	0.3

【人材育成、チーム形成成果】

1　業務内容の見直し、分担化

達成率８０％

・早・遅・夜勤と何人かの職員が対応をする際にマニュアルや担当業務表に沿って行っているが、それぞれの職員のやり方で行う事がないように、研修会等で業務内容の確認や困り事などを共有した。時間帯によっては１人勤務となる事がある為、突発な事が発生した時の業務の優先順位などを決め、慌てる事なく支援ができるように検討した。記録等の業務の短縮を図る為にほのぼの記録システムの入力を行なっている。

2　丁寧な指導、寄り添った対応、可視化できるマニュアル作成

達成率７０％

・チーム内での困り事や利用者支援については、朝礼時や研修会時に課題を出し早目の対応ができるようにした。ご利用者への体調の確認事項などは動画をとり看護師への確認をラインで早目に確認する事ができた。薬を塗る処置の方

法などは動画撮影を行い手順が分かりやすいように行った。今後も動画でのマニュアル作成、マニュアルの整備を行うようにしていきたい。

３　利用者へしてあげたいサービスを考え提案する時間の確保、実行達成率８０％

・日頃の支援から職員が感じた事や、ご利用者から聞き取った事などを朝礼時や研修会で意見交換を行った。その中ですぐ対応ができる事は外出計画をたて実行した。季節のイベント行事も行った。今後もご利用者のニーズに沿ったサービスへの提案や計画を実行に繋げていく時間をしっかり確保していきたい。

6　安倍野工房（喫茶ぴあ～含む）

【令和４年度成果】

１　定員２０名を確保する。

就労継続支援Ｂ型

	R04 計画目標	R04 実績	R05 計画目標
一日平均利用者人数	20.0 人	17.5 人	20.0 人

４月の年度当初は１８名で始まり、１０月からは１７名で推移。引き続き体験、実習等を積極的に行い新規利用者獲得に努めていく。

・積極的に実習生の受け入れを行い、利用につなげる。
　静岡北特別支援学校高等部の方３名の実習と１名の方の体験利用を行う。
・特別支援学校進路担当教員等を対象に見学会を実施。
　１０月２日にわたり静岡北特別支援学校高等部の方対象に事業所見学を行う。引き続き積極的に見学会の実施を行い新規利用者獲得に努めていきたい。
・サポートセンターコンパス北斗やさつきとの連絡調整。
　引き続き連絡調整を行い新規利用者獲得に向け努めていきたい。

２　目標工賃 30,000 円以上の達成。

令和４年度３月末で平均工賃 31,402 円。目標工賃を 30,000 円とし就労継続支援Ｂ型に係る基本報酬の算定基準については平均工賃額が 30,000 円以上 35,000 円未満の所に入ることが出来た。

・清水パッケージ（チャオちゅーる）の作業手順・方法の見直し。
　チャオちゅーるの作業では梱包の際製品をカゴに入れやすいよう段ボールの仕切りを使用することで作業ペースを上げ綺麗に入れられるようになった。
・法人内作業の作業手順・方法の見直し。
　法人内作業においては清掃業務と除草作業をセットにすることで清掃業務の作業ペース向上に繋がり、除草作業を行う時間を確保することが出来た。
・優先調達事業への積極的参加。
　優先調達事業入札への参加により令和４年度児童相談所清掃業務を落札することが出来た。
　中日本高速道路花壇清掃業務へ参加することが出来た。
・各種販売会への積極的参加。
　県庁販売会、アニュアーレタカジョー等の販売会に参会し、収益確保に繋げることが出来た。

児童相談所清掃業務の様子

県庁マルシェの様子

中日本高速道路花壇清掃業務の様子

・新商品の開発。
新たに塩らっきょうの生産を行ったが、販売するにあたり保健所への申請が必要な為今後の課題として取り組んでいきたい。

3　就労移行支援や就労継続支援A型への移行の実現。
安倍野工房ご利用の先に描かれている未来の実現に向け、ステップアップしていける支援を行う。
・法人内資源の活用。
就労支援、就労継続支援A型への移行の実績は無かった為、今後は就労移行、A型のみの移行だけではなくレキシア鷹匠への移行も含めご利用者の移行を確認し、ご利用者の思い描く未来への実現に向けサポートしていきたい。

・体験利用、実習等の実施。
体験利用、実習等の実施も実績が無かった為、今後レキシア鷹匠での体験利用、実習含めサポートしていきたい。

7　けやきワークセンター（ヴェルデあべの・ルンガ・South ぴあ～）

【令和４年度成果】

1　常時定員の確保に努める。達成度：74.5%（令和４年度月平均 14.9 人の実人数在籍）

・法人内相談支援事業所（サポートセンターコンパス北斗、支援センターさつき）との連携・情報共有により、６名の方が新規のご利用に繋がった。見学、体験実習も連絡を受けてから早い段階で調整を行い実施をした。

2　専門性のある訓練・作業科目の確立と関連業種への就労移行に繋げる。

・令和４年度は１名のけやきワークセンター訓練生と１名のヴェルデあべのご利用者が介護職員初任者研修を受講した。研修を通して一つのことをやり遂げた達成感と自信を身につけることが出来た。ヴェルデあべのにて業務のステップアップを図る等、研修受講後の就労実績へと繋げることが出来た。

3　職員の支援技術の向上と統一化・標準化を図る。

・研修会では、経験年数が浅い職員がいることから、前年度に引き続きご利用者に対する基本的な支援方法や一行記録等の記録の取り方、新規利用者の情報共有、作業・訓練の進め方、他法人や他部署での業務改善・インシデント報告の内容の共有や統一に時間をかけて行った。事例検討やロールプレイについては、基本を理解した上で段階的に実施していく。外部研修等への参加についても次年度以降参加できるように調整していく。

4　静岡市が定める「静岡市障がい者共生のまちづくり計画」内の目標値等を意識した取り組みを行う。

・前年度の引き続き静岡市就労移行支援事業所連絡会で行った、静岡市内の放課後等デイサービス事業所の事業所見学会に参加し、けやきワークセンターの取り組みや就労実績等について宣伝を行った。様々なルートからけやきワークセンターへの利用に繋げていけるよう今後も関係構築を図っていく。

就労移行支援事業

	R04 計画目標	R04 実績	R05 計画目標
一日平均利用者人数	20	20	15
一般就労移行者数（A 型事業所は除く）	6	6	6

一日の平均利用者数については、月平均の在籍数としては14.9人となっているが、土曜日や祝日のお休みを希望される方が増えていること等から、若干数値が下がっている。土曜日や祝日の通所については、半日の開所とすることで通いやすくしたり、学習会等作業以外の内容を盛り込んでいくことで利用率を高めていく。

就労継続支援A型事業

	R04計画目標	R04実績	R05計画目標
一日平均利用者人数	10	10	13

・ヴェルデあべののご利用者の出席率は高く、業務内容も確立している。令和5年度は定員数を15に引き上げるので、新たな業務の切り出しとご利用者の作業能力や障害特性を考慮した業務分担を行っていく。

就労定着支援事業

	R04計画目標	R04実績	R05計画目標
一月利用者人数	10	11	15
就労定着率	90%	88%	90%

・令和4年度に就職された方は全員定着している。
定着支援（ルンガ）を利用後のさつきへの支援機関の移行もサービス担当者会議（個別支援会議）の実施や職場担当者への引継ぎ等により対応している。

【人材育成・チーム形成成果】　達成度：８０％

・ご利用者の目標達成が職員とも共有され、職員の達成感や今後のやりがいに繋がっていくようにする。マンパワーに頼った支援ではなく、チームで課題を共有し解決していくことで事業所全体の支援力の底上げを図る。

・朝礼時に良かった取り組みや他法人、他部署でのヒヤリハットやインシデント等について共有することで、職員全体で同じ意識をもって支援を行うことが出来た。

・短時間勤務職員が複数いることから、朝礼時に週や月の予定について共有し、計画的に業務を遂行することが出来た。

公共交通機関を利用した、通勤訓練の様子

令和４年度介護職員初任者研修　開講式の様子

令和４年度介護職員初任者研修　講義の様子

令和４年度　第２３回就職お祝いの会の様子（新規就職者紹介）

8　サポートセンターコンパス北斗

【令和４年度目標】

1　数値目標の達成

2　委託事業の計画的実施

委託相談＜静岡市障害者等相談支援事業＞

	R04 計画目標	R04 実績	R05 計画目標
一日平均利用者人数	5.0 人	6.1 人	5.0 人

・事前に計画した相談件数などの目標を達成する事ができた。

・知的障害者からの相談が多くを占めているが、発達障害者や精神障害者、高次脳機能障害者の相談も増えている。

・個別相談に際しては、コロナウイルス感染対策を実施した上で、家庭・事業所の訪問や来所相談を受けるなど、柔軟に対応することができた。

・地域包括支援センターや保健福祉センターや生活支援課など、様々な関係機関から相談依頼がきており、連携しながら支援ができている。

・委託相談の担う分野が以前より増えている状況があり、どこが担うのか決まっていないこと、例えば生活困窮者の障害年金申請書類作成、法テラス相談による各種書類（交通事故証明書の取り寄せや、信用情報機関への申込書類、弁護士との調整や保険会社との調整）の手配などがあり、仕事の幅が大きくなり過ぎている。

今後、地域包括支援センターやケアマネージャーなどへの委託相談事業所の役割の周知がまだまだ不足しているため、来年度は、積極的にアピールし、認知度を高め、顔の見える関係作りを進めていきたい。

障害児等療育支援事業

	R04 計画目標	R04 実績	R05 計画目標
訪問による療育指導	20 回	1 回	36 回
外来による専門的な療育相談、指導	40 回	0 回	30 回
職員の療育技術の指導	5 回	2 回	3 回
療育機関に対する支援	2 回	0 回	30 回

①訪問による療育指導

・主に相談者が複数利用している事業所に社会福祉士等を派遣し、傾聴を基に専門的な療育指導を行ったが、あまり多くの時間を割くことができず、目標数値を達成することができなかった。

②外来による専門的な療育相談や指導

・外来の相談者が少なく、コロナウイルス感染症の影響もあり、事前に計画した目標数値を達成する事ができなかった。
③障害児の通う保育所や障害児通園事業などの職員の療育技術の指導
・障害特性の理解を重点に置き研修を実施した。研修内容を工夫し、年間2回取り組めた。参加した事業所職員へのアンケートからは、好評価を得ることができている。
④療育機関に対する支援
・療育機関からの依頼がなく、目標数値を達成することができなかった。

＜川根本町障害者相談支援事業＞

	R04 計画目標	R04 実績見込み	R03 計画目標
一日平均利用者人数	2.0 人	1.5 人	2.0 人

地域包括支援センターや精神科病院等、様々な支援機関と連携して、進めていくことができている。様々な障害をお持ちの方を対応しており、支援困難な事例に関しては、基幹相談支援センターと連携し、助言を得ながら取り組むことができている。また、町との定例ミーティングを開催し、支援について様々な視点から見るようにすることができている。

＜高次脳機能障害支援普及事業＞

	R04 計画目標	R03 実績見込み	R03 計画目標
一日平均利用者人数	2.0 人	1.3 人	2.0 人

個別の相談支援に取り組みながら、静岡市でも、行政や協力医療機関、相談機関とともに支援フローチャートを作成することができている。志太榛原圏域に関しては支援フローチャート・リーフレットを配布しており、今年度効果の検証を行った。まだまだ浸透しているとはいえず、今後更なる活用に向けて修正等を考えていく必要がある。

特定相談

	R04 計画目標	R04 実績	R05 計画目標
月平均サービス等利用計画	35 件	32.4 件	35.0 件
月平均モニタリング作成	75 件	62.4 件	67.0 件

障害児相談

	R04 計画目標	R04 実績	R05 計画目標
月平均サービス等利用計画	5 件	3.2 件	5.0 件
月平均モニタリング作成	5 件	2.9 件	5.0 件

今年度も、ミーティングの機会を利用して、ケースの意見交換や検討を実施し、本人の意向を一番に考えながら支援に努めていくことができた。今年度は、研修会の中で事例検討を取り組むことができていなかった。

事務処理の効率化を進めていき、不具合が出れば検討し、さらに効率の良い方法をミーティングの中で考えていくことができている。

3　質の高い相談支援の実施：本人に適したサービスや事業所選び　７０％

・部会・研修会にて、アセスメント技術向上や事業所情報の共有などを取り組む。
・外部研修のフィードバック。
・週１回のミーティングを活用し、ケースや支援の情報を共有する。

→ミーティングの中で、新規事業所や面白い取り組みをしている事業所の紹介を行っている。また、部会ではアプローチ方法などの支援技術向上をテーマにして、それぞれの相談員が普段の実践を振り返る機会を設けている。

4　地域自立支援協議会への積極的に参画し、支援体制づくりを担う。６０％

・地域課題の抽出と解決に向けて、普段の実践から地域支援の意識を持つ。
・地域生活支援拠点や地域包括支援センターなどの支援機関との連携強化

→普段の実践から地域支援の意識を持ち、個別のケースから地域の課題が出た際には、ミーティングの中で共有することができている。それを相談支援連絡調整会議等にあげていくようにしている。また、個別のケースで保健福祉センターや地域包括支援センターと連携をしていく事例はあるが、今後もより連携を強化し、お互いの顔が見える関係を構築していく必要がある。

【人材育成・チーム形成計画】　７０％

1　好事例等をシート化し、情報を共有し支援の積み重ねをしていく。

・昨年度に続き、好事例を一人一事例発表してもらい、支援内容の共有や実践の振り返りをすることができた。

2　外部研修に積極的に参加し、フィードバックする。

・外部研修はオンライン形式などで参加することができたが、しっかりとフィルターができていないものもあった。

3　ミーティングにてそれぞれの業務の状況を確認し、業務分担や効率化を行い、一人ひとりの業務負担を軽減する。

・ミーティングの中で業務の改善をしながら、効率化をすることで、少しずつ業務の負担を軽減している。

9　障害者就業・生活支援センターさつき

【令和４年度成果】

1　数値目標の達成

令和４年度もコロナウイルスの影響で訪問が制限されることはあったが、予防対策を行い相談支援を行った。（雇用安定等事業の相談員：1名欠員）

相談件数は、雇用安定等事業：77.0%（企業訪問等は、115.4%）、生活支援等事業：86.9%。

訓練・実習あっせん件数は、令和3年度と同じ24件だったが、就職件数は、37件と8件増加している。

就労移行等連携調整事業：アセスメント件数110.0%

来年度は、毎月相談件数等の実績管理を行い、目標値達成を図る。

2　新規相談者の就労アセスメント実施の徹底。

3　定例カンファレンスにより統一した支援方針を共有する。

新規相談者の一般就労に向けたアセスメントは、17件実施した。また毎週火曜日にミーティングを行い、各支援員より支援報告により情報共有を行った。

4　相談員の支援技術の向上を図る。

令和４年度は、毎月　相談研修会で事例発表を行い、困難事例に対する支援方法や関係機関先との連携について検討した。

また、障害者職業総合センターにおける障害者就業・生活支援センター基礎研修を職員1名が受講し、相談研修会でフィードバック研修を行った。

来年度は、面談マニュアルや定着支援マニュアルなどの作成について検討し、相談技術の標準化と向上を図っていく。

5　自立支援協議会を中心とした地域支援体制作りに参画する。

静岡市障害者自立支援協議会、同就労支援部会、虐待防止・権利擁護部会に部会員として出席した。

さつき就業・生活支援連絡会は、令和４年度も新型コロナウイルス流行のため、感染防止を徹底し、7月と2月(2回)　集合形式とオンラインを組合せて開催した。

雇用安定等事業

	R04 計画目標	R04 実績	R05 計画目標
年間相談件数	3,000	2,312	3,000
企業相談件数	1,000	1,154	1,000
訓練・実習あっせん件数	40	24	40
就職件数	40	37	40

生活支援等事業

	R04 計画目標	R04 実績	R05 計画目標
年間相談件数	1,000	869	1,000

就労移行等連携調整事業

	R04 計画目標	R04 実績	R05 計画目標
年間アセスメント件数	50	55	50

※全県下を対象地域とした事業

令和４年度第２回さつき連絡会　令和５年２月 27 日

第２回　在職登録者交流会　令和５年３月 25 日

第２回　土曜サロン　令和４年 12 月 17 日

１０　ヴィヴァーチェあしくぼ

【令和４年度成果】

１　常時定員４０名を確保する。達成率８０％

令和４年４月１日に特別支援学校卒業生を１名を受け入れる。

今後65歳を過ぎて、介護保険への移行希望者も出る可能性があるので、引き続き定員確保のために、取り組みました。

生活介護

	R04 計画目標	R04 実績	R05 計画目標
一日平均利用者人数	40	30.2	40

２　利用者支援に関して

（１）保護者参観会を前期、後期に年２回実施し、ニーズを吸い上げ、個別支援に反映させていく。達成率８０％

年２回のモニタリングについて、個別の面談は実施。サポートセンターコンパス北斗の計画相談と一緒に面談を行う流れができつつあるため、更なるニーズの吸い上げとサービスに結び付けていきたい。

（２）　利用者一人一人に対する適切な支援の実施。達成率８０％

・身辺面の力を伸ばす支援の実施に心がけた。新たに入浴支援を行うことが出来た。

・日課表を活用し作業や日課の見通しがつくように実施した。

（３）日中活動の充実による満足度の向上を目指す。目標工賃2,500円

達成率１００％

・チャオちゅーるの袋詰が順調で平均工賃を3,000円を超えることができた。

（４）環境整備　達成率８０％

・室内温度、湿度の管理を行う。また、事業所の周りの整備も定期的に実施した。

【人材育成・チーム形成計画】

＊ヴィヴァーチェあしくぼとフォルテあしくぼは共有内容

・仕事内容のシステム化、標準化により、生産性を向上させ、残業ゼロのチームを目指し実施することが出来た。

・マニュアルを整備し、支援の統一を図る。

ヴィヴァーチェあしくぼの超過勤務時間は大幅に削減し、現在１名がヘルプに行く時間として残業になっているのみで、あしくぼの勤務での残業はほぼ無い。今後も計画的な仕事と、仕事内容のシステム化により、生産性を向上させて、残業ゼロを維持していきたい。

・フォルテあしくぼとの合同研修会で事例検討やロールプレイ等を通して知識や技術を共有しステップアップにつなげることは難しかった。マニュアルも作成はしたものの、反映までに至っていないため、今後研修会を使ってマニュアルの統一を図っていきたい。
・あしくぼ内での委員会及びグループミーティングを毎月行い、課題を明確化し、課題の改善に対して、意識を統一化させチーム力向上を目指すことを今後も取り組んでいく。

軽作業の様子

苗の植え付けの様子

絵画教室の様子

工賃支給式

園外ウオーキングの様子

みかん狩り外出の様子

１１　フォルテあしくぼ

【令和４年度成果】

１　常時定員２０名を確保する。達成率１００％

就労継続支援Ｂ型

	R04 計画目標	R04 実績	R05 計画目標
一日平均利用者人数	20	18.1	20

4月の年度当初は22名で始まり、8月から21名でした。今後も、・積極的に実習生等を受入、希望のある方の利用を増やす。・特別支援学校進路担当教員等を対象とした見学会の実施。・特別支援学校の進路担当者会議での事業所紹介。・サポートセンターコンパス北斗やさつきとの連絡調整。の4項目を行い、定員確保に努めていく。

２　目標工賃26,000円以上とする。達成率１００％

・令和4年度3月末で平均工賃28,342円。目標工賃を28,000円以上とし就労継続支援B型に係る基本報酬の算定基準についは平均工賃月額が2万5千円以上3万円未満の所に入ることが出来た。

・平成29年度後半より請け負っている昭和パッケージ（チャオちゅーる）の作業を固定化していく。

・今後も、・地域との交流を図り、積極的にイベント等に参加する。・地域農家からの野菜販売委託の実施。・パン工房のメニューの見直しを5月10月に行い同時に新商品の開発を行う。・令和2年度より取り組んでいる焼き菓子を充実させ店舗販売を行う。上記4項目については実施して行きたい。

３　ふじのくにソーシャルグッズ・コンテストへの出店と入賞　達成率100%

・令和4年度「ふじのくにソーシャルグッズ・コンテスト」は中止でしたが、ふじのくにブランド化認定に公募し「どら焼き」が認定を決めた。

<table>
<tr>
<td>
軽作業風景</td>
<td>
織物教室の様子</td>
<td>
イベントの様子</td>
</tr>
<tr>
<td>
新商品</td>
<td>
みかん狩り外出の様子</td>
<td>
園内整備の様子</td>
</tr>
</table>

１２　Casa　Shimizu（カーサしみず）

【令和４年度成果】

１　ご利用者のニーズに沿った安心して暮らせる住環境の提供をする…90％

毎月の防災訓練に加え、感染症対策訓練や防犯診断も実施した。
一部ご利用者より隣人の声がうるさい時があると苦情が出たため、申出人へ傾聴を行うとともに、夜間は扉を閉めるなど具体的な対策も実施した。

２　ご利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立った支援を行う適切に効果的なサービス提供が行えるような個別支援計画の作成をする…100％

ニーズ調査傾聴、各部署意見書を確実に行い、モニタリングを実施。
個別計画策定後はご本人及び保護者へ説明、サインを頂いている。

３　地域において、共同して自立した日常生活又は、社会生活が営むことが出来るように支援する…80％

前年よりはコロナの影響が少なく、社会生活へ溶け込める年だった。
支援度の高いご利用者に対しても職員が同行するなどし、他の方と同等の社会生活が送れるよう支援した。

４　心身の状況の把握と健康管理を医師、看護師と相談しながら努める…100％

ご利用者の体調に合わせていくつかの新しい医療機関を開拓。
意思看護師と連携して心身の状況の把握と健康管理に努めている。

５　金銭管理は間違いが起きないよう行い、買い物支援等は利用者さんの意見希望を聞き、要望に沿える支援を行う…100％

お小遣いを一気に使ってしまうご利用者に対しては週ごとに渡すなど１人１人のニーズに合った管理方法を提案、支援している。
１人での買い物が難しいご利用者に対しては、週末職員が買い物に同行支援している。

６　ご利用者の生活すべてにおいて、個人情報保護法に基づいた、権利が確保され、人格が尊重される体制をつくる…100％

個人情報保護法を遵守し、ご利用者の権利と人格を尊重している。

7　地域との連携や交流に参加できるように支援する…70%

コロナの影響で地域の防災訓練等が軒並み中止になったが、
成人式や選挙へ参加し、地域との交流を図っている。

写真：地域の呉服屋に着付けを依頼して、成人式へ参加する

8　緊急時及び防災時のご利用者の防災意識の向上や緊急時の対応支援を行い、緊急時の対応に備える…100%

年 14 回の防災訓練を実施した。
その他、感染症対策訓練や水災害対応訓練、消防署員による訓練の
点検、実際の救急搬送等、充実した訓練内容を実施している。

写真：清水消防署員を招き、施設防災訓練の実施する

9　平日の日課の充実、休日の余暇の充実が図れるよう、ご利用者の支援度に合った計画を立て、生活の充実を図る…80%

前年に比べコロナの影響が少なかったため、個人での外出が増えた。
また、移動支援の利用者積極的に始め、満足度の向上に努めた。
今後はより支援度の高いご利用者が移動支援を利用できるよう
サービス提供事業者と連携して行きたい。

その他、季節の行事やイベントに、昨年は参加できなかったご利用者が参加できたのが大きな成果と言える。

写真：クリスマス会の実施。ビュッフェ形式のディナーとビンゴゲーム。

１０　健康に留意した家庭的な食事提供をし、食事を楽しんでもらえるような献立作成を行う…100％

昨年、朝食のパンが飽きてしまったとのお声を頂いたため、朝食に週５回白米の提供を始めた。
結果、朝食の満足度が上がったほか、朝なかなか起きられなかったご利用者が元気に完食して通所するなど、想定外の効果も見られた。
他、リクエストメニューや誕生日メニュー、季節の食事を提供した。

日中サービス支援型グループホーム

	R04 計画目標	R04 実績見込み	R05 計画目標
一日平均入所児（者）数	18	17	18

途中退去者もいたが、すぐに体験入所から本入所へと繋げられている。
今後も満床維持と入居希望者の開拓に努めて行く。

短期入所

	R04 計画目標	R04 実績見込み	R05 計画目標
年間利用延べ人数	48	229	120
一日平均利用人数	0.13	0.62	0.33

ロングの短期入所者がいたこともあり、実績は大幅に目標を上回っている。
リピーターが大変多い為、今後も固定客の維持と、新規ご利用者の開拓に努めて行く。

【人材育成・チーム形成計画】

1　世話人の支援の質の向上を図るため、支援方法の研修会や、外部研修の参加を積極的に行う。…60％

研修会内でアセスメントの共有を強化して支援の質の向上を図った。
実践研修や外部研修は数をこなせなかったため、予定を組んで行う。

2　人権、権利擁護、虐待防止のための勉強会を行い、適切な支援を行えるようにする。…50％

昨年度問題になった不適切支援を受け課題に挙げていたが、
今年度も事故や苦情が数件起きている。
同じ問題を起こさぬよう、インシデントレポートや苦情受付を何度も
研修会内で振り返り、職員に注意喚起するとともに、新任職員にも
ケーススタディとして支援に生かしてもらう。

3　緊急時や防災時、適切に対応できるように、避難訓練や防災マップを使っての研修会を行う。…100％

実際に救急搬送や水災害が起きたが、適切な対応が出来た。
実際の対応記録を毎年振り返り、今後の緊急時や防災

１３　Lavoro　Mizuho（ラヴォーロみずほ）

【令和４年度成果】

1　定員数の確保をする。達成率：35%

LavoroMizuho　就労継続支援Ｂ型

	R04 計画目標	R04 実績	R05 計画目標
一日平均利用者人数	10	6.3	10

・常時定員１０名が目標、現員７名。
・見学から実習、入所へと結び付けていく。
（令和４年度　実習実績報告）
　３月　１名受入
・希望者への見学・実習を積極的に行う。
・サポートセンターコンパス北斗やさつきとの連絡調整。
・特別支援学校の実習生を受け入れ、また利用希望者を増やす。
・特別支援学校進路担当教員等への受入れ状況等を含む連絡調整を積極的に行う。
・年２回の福祉部会及び必要に応じて見学会を実施
・現利用者の事業所離れを防ぐ。毎月一回の「お便り」で事業所を見に来られない保護者の方へ様子を伝える。
・働く事の楽しさ、やりがいが作業を通して感じられるよう、丁寧な対応・寄り添い・コミュニケーションを取りながら行っていく。

2　目標年間平均工賃30,000円以上　達成率：１００%

・コインランドリーを併設した事業所として、令和３年10月１日にオープン。現在、コインランドリーThreeの店舗売上と洗濯代行サービス業務から工賃を支払う。今後はお客様への洗濯物を預かり、代行して洗濯を行う作業や自主製品の製造・販売を自前の設備を持ち運営していくことで、工賃に繋げていきたい。

3　ご利用者への支援の充実　達成率：９０%

・保護者参観会を後期(3月)にLavoroMizuhoの事業所で行う。LavoroMizuhoの事業所までお越し頂けなかった保護者様には、お便りで利用者様の作業様子や事業所の様子を載せてご覧になっていただいた。毎日ご家庭に持ち帰る作業日誌をご覧いただき、事業所での様子を伝え、ご家庭の様子をご記入頂き、家庭との連携強化を図っている。

始業式の様子

洗濯作業の様子

ブルーベリー収穫作業

附属明細書

該当なし